



飼育日誌

2/6	カリフォルニアアシカ	検温、採血のトレーニングを行う。	6/18	アフリカゾウ	ダイスケ♂ 左牙先端が欠落。
2/7	シバヤギ	シロ♀朝から鳴いていたため、信濃丞と同居させる。	6/19	アムールトラ	アサコ♀ アドベンチャーワールドに搬出。
2/13	ツキノワグマ	入室し、仔の鳴き声を確認。1頭確認。	6/20	ホオアカトキ	ヒナの姿を確認。鳴きながら頭部を小刻みに動かす。
2/15	トナカイ	マオ・サクラとカイオウの展示場を入れ替える。	6/22	シバヤギ	ヤムチャ 朝、♀2頭の産産を確認。
2/22	イヌワシ	西目 第1卵を確認し、孵卵器へ入れる。	6/23	シンリンオオカミ	ジュディー♀を屋外展示場に出す。
2/28	アカコゴウインコ	ヒナ 首が右に曲がり、うまく握らない状態。	6/25	カナダヤマアラシ	匂いを嗅ぐ、人前に寄ってくるなど活発に動く。
2/29	コウノトリ	冬囲い撤去作業。巣台に卵4個を確認。	6/28	レッサーパンダ	メープルの仔(メイ)は、♀と判明。
3/5	ワビチ	♂ 展示場内を走り回り、キーパーにも攻撃的。	6/30	ポニー	陸♀が室内展示場で2頭出産。
3/8	ビューマ	午前中、展示場で同居。	7/1	シバヤギ	1頭は死亡、1頭は人工哺育。
3/9	ポリビアリスザル	フレイメン、爪研ぎ行動が多く見られる。	7/3	フンボルトペンギン	クリン 夕々に展示場で砂浴び。採食良好。
3/14	アナグマ	午前中、パパとすず交尾確認。	7/4	シバヤギ	ギン 朝、♂1♀1を出産。
3/16	アライグマ	冬ごもりから起こす。	7/6	アミメキリン	ヒナ7 6日齢 園内を散歩。誰にでもついていく。
3/17	ポニー	新規個体2頭を朝、展示場へ放飼する。	7/7	ノジロオマキザル	シロ 昼頃、♀2頭出産。
3/28	チンパンジー	通常開園スタート。	7/8	ホオアカトキ	カンタ♂のターゲットトレーニング開始。
4/2	イヌワシ	エニフとエルフィーが開園セレモニーに参加。	7/9	レッサーパンダ	手にタッチするトレーニングと棒を握る
4/6	シンリンオオカミ	飼育員がボンタ♂に指を噛み切られる事故が発生。	7/11	アカカアンガルー	トレーニングを行う。
4/7	ウサギ・モルモット	展示ペア抱卵の卵2個を盛岡市動物公園に譲渡。	7/12	キョン	ヒナ 羽ばたきを確認。
4/8	アムールトラ	ミッドナイト♂死亡(腎不全)。	7/12	ケヅメリクガメ	朝、6/28出生個体の死亡確認。
4/9	アミメキリン	移動動物園に参加。	7/12	アムールトラ	デニーロ♂とモモコ♀の交尾確認。
4/15	アメリカビーバー	移動動物園に参加。	7/14	アムールトラ	展示場フェンスの一部をガラス板に張り替え。
4/15	ホンドキツネ	兄弟トラ(ヒロシ♂、アサコ♀)の1歳誕生会。	7/16	チンパンジー	カメコ 17個産卵。
4/17	ホオアカトキ	パドック柵越で、屋外採血に初めて成功。	7/18	アカコゴウインコ	展示場金網の一部をガラス板に張り替え。
4/21	タンチョウ	今日から、見合い開始する。	7/20	ホンドタヌキ	展示場金網の一部をガラス板に張り替え。
4/25	ホンドフクロウ	2羽を新フクロウ舎に移動。	7/21	アフリカテガミヤマアラシ	ユミノスケ♂誕生会。
4/27	イヌワシ	3羽(信濃、たつこ、風輝)を改修した猛禽舎に移動。	6/8	ミニブタ	散歩時、地上2.5mほどまで飛翔する。
4/28	アフリカゾウ	有料えさやり体験を開始。	7/30	トナカイ	ボン♂とポコ♀の闘争あり。
5/2	マーコール	若♂2頭とロール♂♀群との同居開始。	8/1	フラミンゴ	ワヤの仔の性別は♂と判明。
5/2	ワオキツネザル	仔2頭 親から放れて遊ぶ時間が多くなった。	8/4	ポリビアリスザル	トレーニングにホイッスルを使い、呼び戻しを強化。
5/6	アカコゴウインコ	腕乗せ展示の練習開始。	8/5	チンパンジー	全頭、暑さのため呼吸が浅く速い。
5/7	ツキノワグマ	子グマが屋外展示場デビュー。	8/6	プレーリードッグ	展示場ガラス前、記念撮影客が増え、滞在時間も長い。
5/8	アライグマ	リン♀死亡。	8/6	シンリンオオカミ	わずか♀ 朝、出産していたが、仔は死亡していた。
5/10	ラマ	ヒロ♂ リードを着け、園内散歩トレーニング。	8/7		全頭、夏バテか採食不良。動きも緩慢。
5/13	チンパンジー	ココ♀ 誕生会。	8/9	ニホンリス	エール♂ 朝から動き鈍く、治療するも、夕方死亡。
5/13	プレーリードッグ	エール♂、モール♀、新♂の同居。闘争は見られない。	8/11	ワタボウシバンシェ	シン♂とジュディー♀の同居スタート。
5/15	マーコール	午後3時過ぎ、ララが2頭出産。	8/12	シバヤギ	連れ添って展示場内を動き回る。
5/22	タンチョウ	1卵孵化。もう1卵も嘴打ちが始まっていた。	8/14	カピバラ	出生個体6匹の体重測定、マイクロチップ埋め込み。
5/23	カナダヤマアラシ	メープル 展示場側的小屋内にて1頭出産。	8/15	アフリカテガミヤマアラシ	ランディー♂ ホシガメ展示場に移動し、混合展示を始める。
5/23	コウノトリ	ヒナ2羽 日中、立ち上がる時間が長くなってきた。	8/18	クジャク	メーメーオリピック表彰式。
5/26	フンボルトペンギン	ルー 岩山の下段あたりで1頭出産。	8/21	アミメキリン	第一位は、ライス(バナラの仔)。
5/28	ツキノワグマ	ヒナを外に連れ出し、来園者にタッチングしてもらう。	8/24	シロフクロウ	ぐり、ぐら 夜の動物園で初めての夜間展示。
6/5	シバヤギ	仔♀は「ルイ」と命名。マイクロチップ埋め込み。	8/25	アフリカゾウ	展示場に果実入り氷柱を設置。
6/7	シンリンオオカミ	バナラ 夕方、1頭♀出産。	8/25	マーコール	全個体、かじり食していた。
6/9	シバヤギ	キララ♀、群馬サファリパークに搬出。	8/30	アライグマ	7/22産卵の卵が人工孵化。
6/14	アミメキリン	ジュディー♀、群馬サファリパークから搬入。	8/31	ヒツジ	カンタ♂の本格的な追尾行動を確認。
6/16	アミメキリン	バナラ親子をなかよしタイムに参加させる。			ゴマ♀ 朝、死亡しているのを確認。
6/18	アカカアンガルー	茶臼山動物園から、♂(カンタ、2歳)を搬入。			2頭ともプールに入って水浴びしていた。
		リンリン♀とカンタ♂を同居展示。			ルー♀展示場中央部で死亡を確認(循環不全)。
		デニーロ♂とトマコ♀の交尾確認。			2頭でグルーミング行動。
					全頭の毛刈り終了。



お客様の声

- マーコールが展示場やぐらに登って食事している光景を見て、「この展示効果はすばらしい。」
- アシカのトレーニングを見て、「水族館に行かなくても見られるんだ。しかも近い。手を伸ばせば触れられそう。」
- ケヅメリクガメのまんまタイムを見て、「これだけでも来た甲斐があった。また、見に来たい。」
- アシカのトレーニング、「いろいろなことができるようになってすごいね。また遊びに来るね。」
- フラミンゴが、ガラス面になって前より見やすくなった。
- アライグマのまんまタイムが大好き。
- アシカのトレーニングを見て、「動物園なのにすごい。」
- キリンを近くで見られて感激した。
- シロフクロウ♀の死亡を聞き、「とてもショックです。」



実は、ほめられたら伸びるタイプです

かたばた通信

編集後記

コミュニケーションの作成で最初に行うことは、「この誌面で何を伝えたいか」を考えること。何について取り上げ、どう伝えるのかを考えます。

今回は、大森山全体と動物の人工哺育を特集として取り上げましたが、どんな記事を取り上げても、結局は一本につながることに気がきます。職員は、「お客さまに喜んでもらう」という目的に向かって、それぞれアイデアを出し、実現に向けて日々奮闘しています。そんな、動物園や職員の思いとそこに向けた取り組みを、多くの人に伝えることがこの誌面の役割なのだ実感します。

何も考えずに、ただ動物たちの姿を見るだけで楽しい。個人的にはそこが動物園の魅力の一つだと思っていますが、動物園の中では動物のこと、お客さまのこと、施設のことなど様々なドラマがあります。この誌面でそのドラマを知って動物園を訪れることで、また違った楽しみ方をしてもらえればうれしく思います。(保坂)